



2025年9月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年5月14日

上場会社名 株式会社フィックスターズ 上場取引所 東
コード番号 3687 URL <https://www.fixstars.com/>
代表者 （役職名） 代表取締役社長 （氏名） 三木聡
問合せ先責任者 （役職名） 取締役管理本部長 （氏名） 堀美奈子 TEL 03-6420-0751
半期報告書提出予定日 2025年5月14日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年9月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年10月1日～2025年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年9月期中間期	4,783	22.4	1,502	27.4	1,499	27.3	1,192	56.4
2024年9月期中間期	3,906	9.5	1,179	18.2	1,177	18.7	762	16.6

（注）包括利益 2025年9月期中間期 1,243百万円（59.9％） 2024年9月期中間期 777百万円（18.7％）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年9月期中間期	36.99	—
2024年9月期中間期	23.68	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年9月期中間期	8,936	7,634	82.8	229.30
2024年9月期	8,729	6,943	77.1	208.81

（参考）自己資本 2025年9月期中間期 7,395百万円 2024年9月期 6,727百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年9月期	—	0.00	—	19.00	19.00
2025年9月期	—	0.00			
2025年9月期（予想）			—	18.00	18.00

（注）1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 2024年9月期 期末配当金の内訳 普通配当 14円00銭 記念配当 5円00銭

3. 2025年9月期の連結業績予想（2024年10月1日～2025年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,300	16.3	2,600	12.8	2,600	12.8	1,900	27.2	58.98

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 一社 (社名) 一、除外 1社 (社名) 株式会社Sider

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2025年9月期中間期	33,635,000株	2024年9月期	33,635,000株
2025年9月期中間期	1,382,142株	2024年9月期	1,419,301株
2025年9月期中間期	32,230,815株	2024年9月期中間期	32,194,204株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表時点において当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については添付資料P.3「1. 当中間決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示し、当社ウェブサイトに掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(連結範囲の重要な変更)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(重要な後発事象)	9

1. 当中間決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当中間連結会計期間における我が国経済は、一部に足踏みが残るものの各種政策の効果もあり緩やかに回復しております。一方、物価上昇の継続による経済への影響、金融資本市場の変動の影響、通商政策をはじめとしたアメリカの政策動向による影響の広がり等、多くの景気下振れリスクが顕在しており、不透明な状況が継続しております。

このような経営環境下、当社は「Speed up your AI」を新たなスローガンとして掲げ、これまで培ってきた高度なソフトウェア開発技術のAI領域への活用を進め、AI技術が急速に進展する現代においてお客様のAI開発及びAI活用を強力に支援すべく、各種事業を展開しております。

主力のSolution事業では、自動運転を対象としたアルゴリズム開発や高速化案件、半導体メーカー向けソフトウェア開発案件が長期安定して継続しております。その他においても、高速化サービスに対する旺盛な需要を背景に、日本国内の製造業向け案件を中心として安定的な収益を獲得しております。

SaaS事業においては、量子コンピューティングクラウド「Fixstars Amplify」、乳がんAI画像診断支援プログラム「METIS Eye」、AI開発・運用におけるパフォーマンスエンジニアリングプラットフォーム「Fixstars AI Booster」の開発を進めております。

また、海外においては米国子会社のFixstars Solutions, Inc. が日本のお客様の米国業務の一翼を担う一方、研究機関等を対象とした高速化案件の拡大に取り組んでおります。

以上の結果、当中間連結会計期間における売上高は、4,783,240千円（前年同期比22.4%増）、営業利益1,502,504千円（前年同期比27.4%増）、経常利益1,499,204千円（前年同期比27.3%増）、親会社株主に帰属する中間純利益1,192,285千円（前年同期比56.4%増）となりました。

主要なセグメントの業績は、次のとおりであります。なお、以下の数値はセグメント間の取引消去後となっております。

①Solution事業

Semiconductorの分野では、モバイル機器やデータセンタ等で利用の進むNANDフラッシュメモリを対象として、ファームウェア及びデバイスドライバの開発等を行っております。Mobilityの分野では、自動運転を対象としたアルゴリズム開発及び高速化案件や、次世代モビリティに関連する研究開発及び高速化支援を行っております。Life Scienceの分野では医療画像診断装置における高精細画像のリアルタイム処理やゲノム解析、Financeの分野ではリスク計算やHFTの高速化支援、Industrialの分野では産業機器等におけるマシンビジョンシステムの高速化支援等を提供しております。

この結果、売上高は、4,554,879千円（前年同期比21.8%増）、セグメント利益（営業利益）は、1,680,623千円（前年同期比32.8%増）となりました。

②SaaS事業

各SaaS事業において、将来の収益獲得に向けて積極的な投資・開発を行っております。

この結果、売上高は、228,360千円（前年同期比37.4%増）、セグメント損失（営業損失）は、177,955千円（前年同期はセグメント損失（営業損失）85,905千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び純資産の状況

（総資産）

当中間連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて206,668千円増加し、8,936,336千円となりました。これは、売掛金が659,790千円増加したこと、契約資産が249,269千円減少したこと等が主な原因であります。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて484,896千円減少し、1,301,664千円となりました。これは、返済により1年内返済予定の長期借入金が418,018千円減少したこと等が主な要因であります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べて691,564千円増加し、7,634,671千円となりました。これは、利益剰余金が580,187千円増加したこと等が主な要因であります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ237,487千円減少し、4,618,993千円となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は847,763千円（前年同期比22.8%増）となりました。税金等調整前中間純利益1,503,692千円、売上債権及び契約資産の増加（△410,939千円）、法人税等の支払（△503,823千円）等の要因があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は56,451千円（前年同期比4.1%増）となりました。これは主に、開発機材等の有形固定資産の取得による支出（△62,757千円）によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は1,049,723千円（前年同期比27.6%増）となりました。これは主に、配当金の支払額（△610,597千円）、長期借入金の返済による支出（△418,018千円）によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年9月期の業績予想につきましては、2024年11月7日付の「2024年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました通期の業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (2025年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,856,480	4,618,993
電子記録債権	—	6,685
売掛金	2,256,651	2,916,442
契約資産	258,420	9,151
営業投資有価証券	282,559	282,559
棚卸資産	30,347	15,530
その他	88,352	160,530
流動資産合計	7,772,812	8,009,893
固定資産		
有形固定資産	323,373	300,228
無形固定資産		
その他	3,424	2,953
無形固定資産合計	3,424	2,953
投資その他の資産		
投資有価証券	83,592	80,501
繰延税金資産	208,041	223,035
敷金及び保証金	318,423	309,723
その他	20,000	10,000
投資その他の資産合計	630,057	623,261
固定資産合計	956,855	926,442
資産合計	8,729,668	8,936,336
負債の部		
流動負債		
買掛金	114,469	172,433
1年内返済予定の長期借入金	493,018	75,000
リース債務	21,719	22,293
契約負債	78,133	48,786
未払法人税等	528,400	316,564
賞与引当金	163,963	182,557
その他	354,444	462,091
流動負債合計	1,754,149	1,279,725
固定負債		
リース債務	32,411	21,938
固定負債合計	32,411	21,938
負債合計	1,786,561	1,301,664
純資産の部		
株主資本		
資本金	554,468	554,468
資本剰余金	573,237	608,084
利益剰余金	6,739,042	7,319,229
自己株式	△1,297,594	△1,263,671
株主資本合計	6,569,153	7,218,111
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	26,767	18,945
為替換算調整勘定	131,088	158,428
その他の包括利益累計額合計	157,855	177,374
非支配株主持分	216,098	239,186
純資産合計	6,943,107	7,634,671
負債純資産合計	8,729,668	8,936,336

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
売上高	3,906,519	4,783,240
売上原価	1,835,101	2,169,137
売上総利益	2,071,417	2,614,102
販売費及び一般管理費	892,125	1,111,597
営業利益	1,179,292	1,502,504
営業外収益		
受取利息	38	1,100
未払配当金除斥益	441	262
助成金収入	250	—
その他	147	142
営業外収益合計	877	1,505
営業外費用		
支払利息	1,342	663
為替差損	965	3,977
その他	0	165
営業外費用合計	2,308	4,805
経常利益	1,177,861	1,499,204
特別利益		
投資有価証券売却益	—	4,487
特別利益合計	—	4,487
税金等調整前中間純利益	1,177,861	1,503,692
法人税、住民税及び事業税	393,595	291,466
法人税等調整額	△133	△11,445
法人税等合計	393,462	280,021
中間純利益	784,399	1,223,671
非支配株主に帰属する中間純利益	22,196	31,385
親会社株主に帰属する中間純利益	762,203	1,192,285

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
中間純利益	784,399	1,223,671
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△15,124	△7,821
為替換算調整勘定	8,369	27,339
その他の包括利益合計	△6,754	19,518
中間包括利益	777,644	1,243,189
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	755,448	1,211,804
非支配株主に係る中間包括利益	22,196	31,385

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	1,177,861	1,503,692
減価償却費	61,372	78,238
賞与引当金の増減額(△は減少)	△31,167	16,579
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△4,487
受取利息及び受取配当金	△38	△1,100
支払利息	1,342	663
為替差損益(△は益)	418	1,366
助成金収入	△250	—
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△280,862	△410,939
棚卸資産の増減額(△は増加)	△17,182	14,816
仕入債務の増減額(△は減少)	6,304	57,889
その他	46,889	94,318
小計	964,688	1,351,036
利息及び配当金の受取額	38	1,100
利息の支払額	△1,194	△550
助成金の受取額	250	—
法人税等の支払額	△273,653	△503,823
営業活動によるキャッシュ・フロー	690,129	847,763
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△51,282	△62,757
投資有価証券の売却による収入	—	6,305
敷金及び保証金の差入による支出	△987	—
その他	△1,966	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△54,236	△56,451
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△397,998	△418,018
自己株式の取得による支出	△24	△86
リース債務の返済による支出	—	△12,724
配当金の支払額	△417,167	△610,597
非支配株主への配当金の支払額	△7,254	△8,297
財務活動によるキャッシュ・フロー	△822,444	△1,049,723
現金及び現金同等物に係る換算差額	6,076	20,924
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△180,475	△237,487
現金及び現金同等物の期首残高	4,629,112	4,856,480
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,448,637	4,618,993

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結範囲の重要な変更)

当中間連結会計期間において、株式会社Siderは清算したため、連結の範囲から除外しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 2022年10月28日)及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日)を当中間連結会計期間の期首から適用しております。これによる中間連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年10月1日 至 2024年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	Solution事業	SaaS事業	計		
売上高					
一時点で移転される財	3,224,212	46,293	3,270,505	—	3,270,505
一定の期間にわたり移転される財	516,052	119,961	636,013	—	636,013
顧客との契約から生じる収益	3,740,264	166,254	3,906,519	—	3,906,519
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	3,740,264	166,254	3,906,519	—	3,906,519
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,880	86,294	98,174	△98,174	—
計	3,752,144	252,549	4,004,693	△98,174	3,906,519
セグメント利益又は損失(△)	1,265,197	△85,905	1,179,292	—	1,179,292

(注) 1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2024年10月1日 至 2025年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	中間連結 損益計算書 計上額
	Solution 事業	SaaS事業	計				
売上高							
一時点で移転される財	3,384,399	51,562	3,435,961	—	3,435,961	—	3,435,961
一定の期間にわたり移転される財	1,170,479	176,798	1,347,278	—	1,347,278	—	1,347,278
顧客との契約から生じる収益	4,554,879	228,360	4,783,240	—	4,783,240	—	4,783,240
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,554,879	228,360	4,783,240	—	4,783,240	—	4,783,240
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,644	131,123	134,768	—	134,768	△134,768	—
計	4,558,524	359,484	4,918,008	—	4,918,008	△134,768	4,783,240
セグメント利益又は損失(△)	1,680,623	△177,955	1,502,667	△163	1,502,504	—	1,502,504

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、CVC事業を含んでおります。

2. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。